

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－69）、MOX燃料加工施設（1－66）」

2. 日時：令和3年9月21日（火） 13時30分～15時35分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査専門職、森野安全審査専門職

日本原燃(株) 村野 理事 再処理副事業部長 他18名

東京電力ホールディングス(株) 原子燃料サイクル部

サイクル技術グループ

関西電力(株) 原子力事業本部 原子燃料部門 原燃計画グループリーダー

中部電力(株) 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

九州電力(株) テクニカルソリューション統括本部

土木建築本部 原子力土木建築部長

大成建設(株) 原子力本部 原子力構造技術部 専任部長代理 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000069.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和2

年 12 月 24 日)

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000124.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html)

・ 令和 3 年 9 月 14 日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」

・ 令和 3 年 9 月 15 日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁の武田です。それではただいまから、日本原燃株式会社とのヒアリングを開始いたします。
0:00:09	本日のヒアリングは例は2年12月24日に申請があった設工認申請について、
0:00:16	9月14日及び15日に提出があった資料をもとに、事実確認を行うものになります。
0:00:25	規制庁側の出席者ですが、本庁側ツガネタケダ
0:00:30	MeVからの参加が、
0:00:33	コサクキシノ
0:00:35	カミデモリノ以上になります。
0:00:40	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、議題の構成説明範囲、達成目標について説明をお願いします。
0:00:51	日本原燃の藤野です。本日日本原燃側の出席者になりますが、まず事務局としてムラノば再処理事業部からムラノ、タカハシフジノ、これはMOXのほうからタカマツ。
0:01:05	タニグチイトウ
0:01:08	それから説明者としてフナコシサトウ、ミヤモトガシ、ウラバヤシイナズマ、オガセスギタ、シフヤマグチ
0:01:20	ハラダ、メキサトウ
0:01:23	それから九州電力さんから笠毛それから大成建設より築炉様とタカハシさんに参加いただいております。
0:01:33	本日説明する資料ですけれども、耐震建物08番ですね、この地震応答解析関係の資料、それから安全冷却水2番目の資料といたしまして安全冷却整備冷却ネットに飛来物防護ネット加工に関する来資料ですね、こちらの二つの説明を本日予定しております。
0:01:51	それではですね、耐震建物08番の資料の説明から上がらせていただきたいと思います。
0:02:00	日本原燃のオガセです。耐震建物08地盤モデルの資料につきまして前回からの変更点についてご説明をさせていただきます。前回でこちらの資料なんですけど2ページ目のところに目次がございます通り、この資料の参考といたしまして、今回第1回の申請に関しましては、直下の地盤モデルでちょっと
0:02:20	今のに基づく直下地盤モデル、こちらに切り換えを行いましたけれども、これにこれを採用いたしますと地震応答解析、また耐震評価、こちらが変わりますの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	で、これに書いたところを地震応答計算書と耐震計算書に反映するというところで開催予定参考資料としてつけております。
0:02:37	こちら前回お示しておりましたけれども、前回のヒアリングでの御指摘踏まえまして、一部図表の追加をいたしましたのでこちらについて御説明いたします。資料の 120 ページのところでございます。
0:02:50	120 ページにございます通り、今回の地盤モデルに基づきまして各自身は地盤応答を出した際の有効せん断ひずみの分布、こちらを図として追加いたしました。また 100kA80、285 ページですね、こういったところがございますけれどもこちらの並みに基づきます、最大の加速度ベント地盤の深さ
0:03:10	ここの加速度面でこちらのほうでデータとして追加をさせていただきました。こちらの資料につきまして、今回追加してきたところにつきましては以上でございます。
0:03:19	御説明以上です。
0:03:23	規制庁の武田です。ありがとうございます。それでは耐震とても-08 につきまして規制庁側から確認事項がありましたらお願いいたします。
0:03:36	町カミデです。おつきなところとして幾つか確認したいのは、そういったことを説明があって、120 ページ、要は追加されていて、その有効せん断ひずみですけど。
0:03:52	120 ページが 141 ページの上、有効せんだけども、かなり多く設定大きく出ているところで、
0:04:05	その確定で、例えば 115 ページの攻め低下率のひずみ依存特性のは、前の有効せん断ひずみのところでデータがやっぱりないんですけどその辺をどういうふうに考えているかスギタをもう少し、
0:04:23	はい、日本原燃のオガセでございます。ただいまの御指摘のところでございますけれども、今回のところでございますが、例えば 115 ページのところ、今カミデさんからもお示しいただきました剛性低下率、こちらが 115 ページが造成モリノのところでございますけれども、おっしゃる通りで生データとしてはひずみとして 1%程度のところでございます。
0:04:43	カワラサキというのは外挿のところになっているところでございます。ただこの外挿といいましてもこちらのひずみ依存の曲線につきましてはきちんとこのデータに適合するように設定をして固定すると設定しております、実際にこの生データによく沿ったような形での
0:04:59	ひずみ依存特性が得られているところでございます。またそのひずみ依存特性の最終的な人桁%台のところの数字を見ても、必ずしもこのデータが得られてないところから先は剛性が落ちないというようなそういうような評価

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	にはしておりませんで、きちんとそこから先も剛性が落ちるような評価をやっているというところになってございます。
0:05:18	それを踏まえましてひずみの実際の数字 120 ページのところなどの映像ご覧いただきますと、
0:05:25	今、120 ページですね、こちら例えばこちら一番左のSsのなんかを見てみますと、実際にこのひずみが一定大きく出ているようなところといいますのは、ちょっと字が小さいんですけどもTMSL-46 から 55 という一番上の層、この中のさらに鋭意
0:05:42	ごくわずかの薄い層というふうなところになってございます。こちらについての非線形特性を先ほどの外層なりに落としたところのせん断ひずみ剛性低下を考慮してやっているというところになってございます。実際にこちらの数字入れているのが 126 ページのところなんですけれども、
0:06:02	はい、126 ページのところのこちらの上の表のところの 3 行目ですね、の中のこの内のせん断弾性係数Gというところをご覧いただければなんですが、上から 3.682. 39 その次ですね、0.657 というふうに先ほどのひずみ依存特性を踏まえた剛性低下非常に小さくなっているものですが、こちらをきちんとなりにちゃんと入れた形で表
0:06:22	オオオカを実施しているというところでございますので、外層ではあるものの、評価としては適切に実施しているというところを適切に評価されている剛性低下剛性低下に基づいた評価を実施しているというところでございます。またこちらの資料の中ではないんですけども地盤ばねの設定のところでもですね。
0:06:39	こういったところについては地盤バネに期待しないというところでして地盤ばでできるような評価をやっているというところでございますので、こういった非線形性を考慮した上での地盤の取り扱いというところについては、この一番上との設定たばねの設定というところでは適切に設定しているというふうにご考えております。以上です。
0:07:00	規制庁カミデです。
0:07:04	115 ページのところだと外層で使ってるというお話なんですけど外層値の妥当性みたいなのところですか、
0:07:16	他のサイトとかでもこういう階層で適切であることを確認されているとかですね、そのあたりまず外挿することの妥当性、115 ページで言うと、
0:07:31	剛性低下だと本当にこの後また赤字のかすんと落ちないのかっていうところを元帥か件数でいうと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:40	だったらばにはこう右上がりになってますけど、さらに上向きになるようなことを考えるのかというところをこの外挿値を使って問題ないというのはどういうふう に判断されてますか。
0:07:54	日本原燃のオガセでございます。外層違え実際にこの後どうなるかっていうと ころにつきましては、実際試験としてここまで得られているところでしたのでここ から先のデータがないようで確たることがいえるわけではないんですが、設計 の判断としているというところになるんですが、実際今回のばねばねを切った 評価をしているわけでございますが、
0:08:12	その際にすでにこの剛性低下率というのがすでにこのデータのデータがある 範囲でも 20%ですとかそういったところになっているというところがございます して非常に小さくなるというところで今回我々としてしましては最終的にばねを切 ったような評価をするというところになっておりますので、応答としてはどちらに しても変わらないバネを切っても、
0:08:30	この、仮にこの剛性低下率がさらに落ちるもしくはこの中に続く、これがどちら に一緒であっても、この場面への影響という観点ではほとんど変わらないとい うふうに考えてございますので最終的には建物の耐震設計として、建物の床 応答多数でこういった場合にはこちらはええとのどれをとっても問題ないとい うふうに考えておりますので、今回我々としては、
0:08:50	この外挿というところを採用したというところでございます。
0:08:57	規制庁込みです。今の話は外装置が正しいかどうかというよりも、このレベル の話であれば影響小さいのでさほど県立の話はしなくていいんじゃないかって いうような話に聞こえたんですけど、実態として改装値の妥当性みたいなもの を調べてたとか、その辺はいかがですか。
0:09:22	日本のオガセです。実際のところといたしましてその外装置についての妥当性 というところを調べているというものはないところでございます。ただこの剛性 低下率のところの定式化しているものをこちらの 115 ページのグラフの右上に 書いているものですが、こちらについてはやはりきちんとしたものというふう になっておりまして、
0:09:41	定数につきましても、その他の式ともよく整合するようなところ、さらには、最終 的にはあなたにはなっておりますけれども第ひずみのところについてもきちん と落ちるような方向というふうなところになっていきますので、そういうところで妥 当だというところで考えているところでございます。
0:10:00	はい、規制庁カミデです。いずれにしてもなぜこの値を使っていいのかその階 層値で評価していいのかという今説明あったようなところはきちんと説明を いただいたほうがいいですって、記載場所ですけど今この 115 ページの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:19	一般書に記載すべきかという。
0:10:21	要は、ここはおそらく計算書イメージみたいなところで、補足の中身として、適切な場所になぜこれでいいのかというところはきちんと完売を示していただければと思います。
0:10:41	日本原燃のオガセでございますかしくまりましたこちら外挿ところをこういうふう設定しているところの妥当性につきましてちょっと説明を深めるように検討させていただきますのでまたその確認につきましてはこの3項ではなく、きちんとこの本文側のこの補足説明資料の本文側のところに記載をするようにいたします。
0:11:02	はい規制庁上出です。そして同じように120ページ121ページの有効せん断ひずみなんですけど。
0:11:13	これだけひずみが出ていて、その透過検査等価線形で解いていいと、その適応範囲の考え方がよくわからないんですけど、その辺り説明いただけますか。
0:11:26	日本原燃のオガセでございます適用範囲の話といたしますとまずジャック等で記載されているところ、Aのところでございますと、支持地盤も5制定が0.7程度までというところで話があります。こちらにつきましては今回の支持地盤といたしましてはこちらの今、
0:11:42	惜しんご提示いただきました120ページのところでございますと、この31.53mよりも下なんですけど、こちらについては非常にひずみ小さくてですね。残せ低下率として-0.8以上というようなそういうようなところの数字になっておりますので、弱に照らした適用範囲というところでは問題がないというふうに考えてございます。
0:12:00	一方でご指摘の通りなんですけど表層のところのごく一部の層、ここで非常にひずみが結構大きくなっているというところがございますので、ここに関しましては先ほど申し上げました外挿してもいいかというところの話、あとはやはり最大応答分布、最終的につけてまして185ページなんかの
0:12:18	IIありますけれどもこちらでもやはり表層のほうにも波伝わっているところがございますのでやはり評価としては、このひずみ依存特性なりに剛性低下したなりの物性値を入れた上で評価をするというところで妥当というふうに考えているというところがございます。以上です。
0:12:37	規制庁カミデです。今のお話と違う詳しくに支持地盤の話は言っているけど表層は、
0:12:47	そこまでは話をしていないという、いうように聞こえましたけどそれであれなんですかね技術的に自明のことというか、表層については

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:59	幾らひずんでいても、支持地盤のところがしっかりしていればいいんじゃないかと、そういうことですか、もう少し説明いただきたいんですけど。
0:13:15	日本原燃の橋でございます。そういう意味でいきますと寄与率という意味でいきますとやはり支持地盤のところが沈んでしまうの直接既卒者入力するようなところの地震幅は日非線形性によってどうにかなってしまうというようなところが、やはり
0:13:30	耐震設計は寄与率という意味では非常に大きいものというふうに考えておりますのでそういう意味では支持地盤がひずみがあり非線形が大きくなっていないければ、自明といいますか時等価線形解析としては大丈夫だというふうにいえると思っております。一方で表層につきましては先ほど来申し上げております通り／熱に
0:13:48	最終的なばねとしては非常に一番小さくなるもしくは山場に起きる等でゼロになっているというところがございます、実際あの耐震設計に与える起用度という意味ではこの表層地盤の非線形というのは非常に効いてこないというようなところで、認識をしているところがございますので、先ほど弱のところを
0:14:06	持っておけば基本的にはもう適用としては問題ないというふうに考えております。ただちょっとひずみとして実際大きいところがございますので、先ほど外層の検討と合わせてですねちょっとこの辺、ちょっと定数で定量的に何かしら上げないかというところをちょっと追加で検討のほうはさせていただきたいと考えております。
0:14:29	規制庁カミデです。
0:14:32	今起用度は表層と指示の企業どうも話をされましたけど、
0:14:37	弱で、そこまでいってるかどうかっていうのはまた説明をいただければと思いますって基本的にはひずみがあり大きいと等価線形っていう解析手法だと鯖出るんじゃないかという話をしているんだと思いますので、
0:14:55	ちょっと共同云々っていう話はちょっとうまくなかなか理解しがたいというところなんですけど。
0:15:03	その上で、
0:15:06	いずれにしても、日ひずみがあり大きいところがあって非線形性を出るだろうということであれば、今何かしら検証をという話でしたけど、逐次等をするなりですってですね。
0:15:22	一旦応答出してみても今回やってみたものと比較をして
0:15:29	考察してですね、その起用度のお話になるのかあれですけど、今回作った入力地震動とか、確からしいものかというものを技術的にきちんと説明をいただきたいと思いますが、一方ですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:45	2本目のオガセでございます。おっしゃっていただいた観点での技術的にきちんと正しいかという消火につきまして拝承いたしましてはちょっとあの設計型のところとも隻を実際の設計者とも相談をいたしまして実際にどういうふうな方法がとり得るのか、そういったところを確認した上で示させていただきたいと考えます。以上です。
0:16:09	規制庁カミデです今日の段階でどういう評価をするかっていうことは持ち帰るというような話ですけど、早々にですね、どういう評価をするかの
0:16:23	検討いただいて、来週のヒアリングでもいいですし、今日のヒアリングの最後でいいですけど方向性を少しお聞かせ願えればと思います。よろしいですか。
0:16:39	日本原燃のオガセでございます。申し訳ありません。持ち帰る。ええことにはせずちょっと方針のほうだけちょっとPaお答えさせていただきたいと思えます。ただいまのお話踏まえますとやはり逐次的に非線形解析のほうがやっていた方がこの妥当性というの示せるかと思えますのでそういったところをちょっと
0:16:57	具体的な条件等につきましては当然日計算の際に決めさせていただきますけれども、方針といたしましては、そういった逐次なところにつきましても視野に入れた上で評価のほうを実施してお示しをさせていただきたいと考えております。
0:17:13	規制庁カミデです。わかりました、ちなみにどれぐらいの期間を要しそうかみたいな見込みはありますか。
0:17:25	日本へのオガセでございます。と解析を期間という意味でいきますと今回のひずみの大きいなるに対しての評価で実施しておけば相対的な網羅的なところの評価というのはある程度見えるというふうに思っておりますので、ちょっとなる絞った記録等御単位でございますけれどもそれでちょっと2週間
0:17:43	5のところでお示しできればというふうなところで考えております。
0:17:51	はい、規制庁込みです。まずわかりました。
0:17:56	私のほうからちょっと今度せん断ひずみ、
0:18:00	案件について異常ですけど他に規制庁側からの関係であればお願いします。
0:18:08	規制庁の武田です。ちょっと繰り返しのようになるんですけども今おっしゃってたように、JEACで支持地盤の剛性低下率を0.72のまま目安にしているということは、
0:18:23	記載があると思うんですけど、時約4の①であんまりエンドースされてないのでこれを参考にしている電力ってそんな多くはないのかなと思っております、この等価線形解析の適用については、目安としては最大値と。
0:18:39	有効せん断ひずみが1%、そういう目安を

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:44	一次元波動論のですね適用の目安としてあると思うので、それを超えている場合は、他の電力でも逐次線形解析でやっているところその妥当性を考えているとか、そういった検討されていると思っておりますので、
0:19:01	そういった先行炉での検討とかを参考にですね、
0:19:07	こちらの考察のほうを進めていければと思います。補足みたいになります、以上です。
0:19:12	日本原燃のオガセでございますかしこまりました。今の補足事項踏まえた上で検討のほうで実施いたします。
0:19:25	規制庁カミデです。すいませんもう1点だけ決まったように先行の実例だと大体1%ぐらいで逐次をやるという話先行例ではそういう取り組みになっていて、今回日本原燃としては
0:19:43	そういうかなり大きなパートかも出ている中で、
0:19:48	実養老の助成、実用炉か女性いただいている方とかですね、どうい話をした結果を、これは
0:19:59	ちょっと等価線形を使えないんじゃないのかっていうそういう議論は社内の中ではなかったんですか。
0:20:08	日本原燃のオガセでございます。そちらにつきましてはやはり我々といたしましても、こちらのひずみが大きくなった際にどのように耐震設計に反映すべきかというところを確認や先行プラントの実例も踏まえて確認をいたしました。その結果といたしまして、
0:20:25	天候のサイトウとところでなんですけれども、このひずみが1/こういようなところにつきましては、その地盤場に起きることによって耐震設計に反映するといような、そういったところをやっているところがございますので、それを踏まえて我々も同じような評価を実施したというところございましたので等価線形自体のこの
0:20:42	1%というところの話はしてるんですがそれをどのように耐震設計に反映するかという観点で先行プラントの実例については確認をさせていただいております。以上です。
0:20:57	規制庁カミデです。もしよければ、電力側で支援されてる方で、本件について何か話をしたとか、紹介いただければと思うんですけど、いかがですか。
0:21:11	九州電力の赤司でございます。よろしいでしょうか。
0:21:18	はい、お願いします。改めて九州電力の赤司でございます。本件日本原燃さんの方等この話をさせていただく中で、やはりその7%という沈み保土ヶ谷これやっぱり非常に大きいというのが飲食でございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:36	先ほどカミデさんからもご紹介ありました通り1%程度を超えた場合は、逐次非線形の検討も挟みながらどう取り扱うかということを探りしつてるのが正攻法へ自分の方での検討でございますけども、
0:21:54	特に興銀リースさんのこのバイアルひずみが非常に大きいということで、これ逐次非線形等々をやっても先ほど等価線形どの場面もあたりともご覧いただきましたが、桁オーダーが違うのはほぼ聞かないと。
0:22:11	というような値にもなっておりますので、先ほど現年オガセさんの方からもご紹介がありましたけども、まずはもうバネ落ちるそこはもうやりとりがないんだという評価をするということをベースに置いた上でただ実際に等価線形であってもこの程度のやりとりはあるという
0:22:31	ことが資料としても提示した上で、取り扱いとしてすみません、取り扱いとしてはすいません、ざっくりした言い方ありますけれども、大きくきくところではないので逆結果を左右するところではないので、
0:22:46	今評価として先ほどのような形でいこうかというような話をしたというところでございます。
0:22:53	以上でございます。
0:22:57	はい、規制庁込みです。ありがとうございます。追加でお聞きますけど、実用炉で1%を超えたらみたいな話は指示支持地盤だけの話なのか、競争も含めてなのかというそれはどちらでしょうか。
0:23:14	九州電力の赤司でございます。当社九州と脊振から九州電力の事例ではそこまでのものがないんですけれども、私も認識しておりますのは結局、ひずみが大きくなって作業してくるのはやはり、
0:23:31	支持地盤のほうになりますので支持地盤のほうを非常に意識しながら、あとは表層のほうは結論としてはその影響の場合、どれぐらい採用するかというようなその感触に応じてという判断になってるかというふうに認識しております。以上でございます。
0:23:51	はい。規制庁カミデです。ありがとうございました。
0:23:56	私のほうからは以上です。
0:24:06	規制庁タケダですねその他規制庁側からA本震につきまして確認事項ございますでしょうか。
0:24:24	規制庁の土野です。ひずみ通り別の箇所の質問ますけれども、
0:24:31	資料の481ページG、
0:24:36	ちょっと確認したことになります。
0:24:43	去年落ちですよろしくお願いたします。はい。こちらにですね地盤の初期物数値の記載があつて、マンメイドロックのところには、※1 直下も無視地盤物性

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	値を設定するというふうに規制があるんですけども、所直下というのはマンメイドロックのすぐ下、
0:25:03	もう債流左岸 39.0+30. 通路 8Aのものをさしているという読みますけどそういう理解でよろしいでしょうか。
0:25:15	日本原燃のオガセでございますおっしゃる通りの認識でございます。
0:25:19	補助金です。その下ですね、掃流サーバーほんでまたそもそもさえ流左岸としてジャパン物性値変わってくると思うんですけども、ちょっとマンメイドロックを閉とそういった下の部分までは考慮しないで、直下の再稟議サーバーの物性値を
0:25:38	使っているというそういう理解でよろしいですか。
0:25:41	日本原燃のオガセです。おっしゃる通りでしてマンメイドロックのところにつきましてはちょっと左右左岸のところとして1を使っているというところでございます。
0:25:49	規制庁金です。わかりました。滞留左岸にしたそういう砂岩砂粒砂岩となっている成長変化して以降の件なんですけれども、この数字だけを使った理由、今後ちょっと教えていただきますか。
0:26:05	日本でのオガセでございます。こちらにつきましてご指摘いただいております通りこの直下の物性そうした戻し低地側のS波速度でいきますと680メートル/sとありまして、これにつきましては差異理由砂岩層流左岸砂粒砂岩という順番のところでもそう変わっている中でもS波速度としては変わらないというようなところが、
0:26:25	直下の地盤もらう近傍の地盤はPS検層結果から得られておりますので、このような速度構造でそのままMMRまで設定しているというところでございます。もう一つはたらメルターとして地盤ごとにかわるものといえますとひずみ依存特性というところで一番この表の
0:26:40	右側の※2※3 というところでございますけれども、実際今回の評価といたしましてはこちら支持地盤の物性値というところになりますので、剛性低下としては先ほどの話でも繋がりますけれども、ほとんど起きないというようなところになっておりますのでこちらにつきましては、いずれのかかるいずれの
0:26:57	物性値を使ったとしてもひずみが変わらないということは初期物性からほとんど変わらないつまり即ASR速度としての680からいずれのひずみ依存特性を買っても変わりませんので、今回としましてはこちら幾つかのところも債流左岸のところのひずみ依存特性を頭に飛散速度こちらのほう採用者という経緯でございます。以上です。
0:27:17	引き続き、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:19	部長のキシノです血糖値時間でしたらそんなにひずみも進行しないので剛性低下率で使っても影響しないということなんですけれども、
0:27:30	これはもう実際どれってどの程度の地場時ないし、1の値になって仮に、その下の在留左岸ですかね。
0:27:42	483ページにあるようなものをこみしたとしても影響がないってことは確認されているんでしょうか。
0:27:51	日本原燃のオガセでございますよというような数字にいたしますので、申し訳ありませんちょっとお待ちいただければと思います。はい、お願いします。
0:28:29	お待たせいたしました日本原燃のオガセでございます。こちらのひずみといたしましてはマックスで0.03%というところでございます。それでいきますと4、482ページのグラフをちょっとご覧いただければと思うんですけれども、こちらの上のほうの剛性低下率で横軸0.03%のところを引くと的ちょうど
0:28:47	磁場G0のところ剛性低下率0.9ぐらいを指すこととなります。これ左右砂岩の辺りとなります。仮に掃流砂岩のこう使ったらどうかというところでございますと、次のページの483ページでございますが、
0:29:02	こちらでその点例3でいきますと0.8ぐらいというところで若干の差が0.9から0.8というところがございましてけれども、構成としては大きく落ちる範囲ではないというところが変わらないというところで考えております。以上です。
0:29:17	センターのキシノです。わかりました。そういったことも踏まえて、直下の最流左岸の物性値をマンメイドロックに適用したという御判断というふうに理解しましたので、そのぐらいだったので説明としてですね、どういう考え方でどれを設定したのかっていう状況というところも含めての説明をしていると。
0:29:37	なければと思います。私から以上です。
0:29:39	日本原燃のオガセでございます。そちらのほうの設置設定のA系、こちらにつきましては資料のほうに反映をさせていただきます。
0:29:59	規制庁タケダです。その他本書につきまして確認事項ございますでしょうか。
0:30:15	規制庁カミデです。
0:30:18	10ページのところなんですけど。
0:30:23	ばらつきの話が出ていて閾値に3パラ目のたわけですかね。
0:30:31	燃料加工建屋は直下が幾つかあるのでそのばらつきを取り入れて
0:30:41	きょくとうについては、1ヶ所しかも近傍孔を持ってきているから旧中央全体のばらつきを見るって話で、結果論的な言葉が書かれているんですけど、そもその考え方として、
0:30:58	今

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:59	ちょっと場で基本的にやっていくっていう方針のときに、ばらつきっていうのは、母集団等を取っていくのが正しいのかって言うのをまず方針としてどう持つてるかっていう説明いただけますと、
0:31:19	日本原燃のオガセでございます。こちらにつきましては、こちら資料の9ページのところの下のパラグラフサンプ3ばらつきの設定方法というところに期待はしているところでございますけれども、やはりこの母集団として複数ある場合には当然やはりそちらの母集団この同じ地盤で同じ直下地盤中で複数ある場合につきましては、
0:31:38	そういった所母集団のプラマイのばらつきは見るべきだろうというふうに考えております。一方でやはりこの調査の実施箇所のところも事情があるところがございますけれども、単一のPS検層のみを参照してちょっと地盤モデルを作るときというのが出てきた場合、こういったときにはばらつき母集団一つしかないのばらつきを見ませんということは設備。
0:31:57	やはりその周辺の地盤状況を踏まえて適切なばらつき幅を設定することというふうにしております。この周辺の地盤状況というのは今回我々いたしましたこの冷却塔については、周辺の中央地盤のところのデータを見た上で母集団としては入っていないんですけどばらつき幅の参照としてはそういったところ、
0:32:15	地盤状況を踏まえて入れていくというような形で考えているのが考えていくのが妥当というふうに考えてございます。
0:32:24	規制庁カミデです。この9ページの
0:32:28	やはり周辺の状況を踏まえて適切になってというのが非常に曖昧ですね、
0:32:35	常に冷却等々と同じ扱いをされるのかどうかよくわからないと記載なんですけど、もう少し具体的に記載するとしたらどういう方針になりますと、
0:32:54	日本原燃のオガセでございます。実際にやっていることと精神というところを踏まえて餅具体的にいうところで記載するとすればですが、こちら9ページの一番下の行あの周辺の地盤状況を踏まえて適切なというところを具体化することにいたします。そうなりますと、例えばあの周辺の地盤状況を
0:33:11	確認して、同様の村長のももとの母集団直下のやつ直下のどうと同様な地盤が広がっているようなところについては、そちらについても、単点消火脱法集団という課税たの参照範囲を広げ、そちらも±はのばらつき幅をとるというような
0:33:31	そういったようなところで確認することになるかと思っております。
0:33:40	規制庁カミデです。ちょっとよくわからないのか、
0:33:45	今、一つしかとれていないデータがどれだけばらつくかよくわからないっていう時に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:53	同じデータの信頼性があまりないという状況で、
0:34:00	その一つのデータに似通ったものだけ拾ってくるっていう考え方が適切なのかなどうか、ちょっと悩ましいところではあると思うんですけど。
0:34:12	嘘。その点
0:34:15	あれですかね位置的なものだとかそういう観点である程度網羅的に話をするっていう、そういう説明の仕方とかはないですか、日本人のオガセすみません言葉が足りませんでした。そちらにつきましてはこのまま戦後の地盤状況を見るというのは今回町の
0:34:35	地盤のデータの中からばらつきをとったということになります、なぜその中央地盤からとったかといいますと、その地盤の地質構造の分布ですね、こちらはこちらの今回の冷却塔の直下のところのものと同じような岩盤を集めた結果、図の中央地盤の岩盤調査結果が集まったということになっております。以上で例えばちょっと事例で
0:34:55	ますと、これから冷却塔につきましては相殺硫酸と泥岩というものが構想を想定量な地盤のものでございましたが、同じような部分となっている砂粒遮断と泥岩が入っているような中央地盤のデータを集めて、ばらつきを設定するというようなそういうようなところのフェーズになりますので地質構造といったところが一つのキーになるかというふうに考えております。以上です。
0:35:18	規制庁カミデです。そういったことがわかるように、この文章に加えて説明するなり文章そのものを書き換えるなりして方針としてどうするのかっていうのがわかるように記載いただければと思います。
0:35:34	日本原燃のオガセオガセですかしこまりましたこちら9ページの文章のほうをもう少し具体化してこのばらつきの設定の方向方針についてわかりやすいような記載といたします。
0:35:59	規制庁タケダですその他4週につきまして確認事項ございますでしょうか。
0:36:08	土地です。すいません、これも本件ちょっと確認しておくこと。
0:36:12	レジデント 347 ページで、燃料加工建屋の水平方向も検討資料になるんですが、347 ページの真ん中の表にまず
0:36:30	記述した結果というものが載っていて燃料加工建屋については
0:36:34	応答特性①のうち、基礎スラブのみというふうになっています。前のページ、前年度当行燃料加工建屋について、
0:36:46	応答特性として②-1。
0:36:49	として、これに室の壁とか天井スラブなんかも抽出しているんですが、このページで稜加工建屋について適切な部のみに絞ったというか、表示を絞っているのはどういう考え方によるものなのか説明いただけますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:14	日本連動してございます。こちらのほうとしましては
0:37:19	現状の評価書のほうに記載している内容といたしまして、多少の組み合わせから出てくるものといまして荷重の組み合わせによって方向性を有するものと言ったところが調査ばかりとするといったところで、こちらのほうに展開してございます。一方で、こちらのほうの表の中で、
0:37:39	北電室の壁であったりといった部分に関しては3次元応答の影響といったところでトリガされる項目というふうになってございまして、3次元応答によって問い合わせる項目につきましては現状の整理としまして、2方向の
0:37:55	計算書のほうのページのほうでですねこちらのほうで、その評価書の結果については記載するというふうな現状を整理をさせていただいている関係上で、こちらのほうの資料としましては基礎スラブのみの大きさしてるというところでございます。
0:38:13	課長基準ですと今おっしゃった粉じん等県損傷の別紙設定というふうに関こえたんですけど、計算書止まりますというのは見ている、この資料ということになりますそれから補足説明資料の間違いではなくてこの資料ということによろしいですか。
0:38:30	日本にトガシございます補足説明資料でございます。補足説明資料の別紙のほうに記載させていただいてございます。
0:38:39	まず、給水わかりましたので。この資料のほうで、結果として載せているのも基礎スラブのみということになって30円等に係るものは、補足説明資料のほうを見てくれというのはそういう整理になっているということですね。
0:38:55	日本原燃当初外務省等でございます。
0:39:00	金利そちらになるんですけどここに載せるものを補足3-2のセルもその振り分けてどういう考え方に基づいて言うでしょうか。3次元応答補足っていうのはどういうふうに判断になるのかもちょっと施工中でございます。
0:39:21	日本にどうしてございます。私どもの理解といたしましては荷重評価によって影響度すま直接的に2方向の荷重、応答によって競合するものっていったところに関しましては、こちらの計算書具現化するというような形の整理といったところと、
0:39:36	あと3次元応答に関しましてはその3次元の応答斉唱を加味して影響があるかどうかっていったところを原則影響評価というような感じの方でですね評価しているといったところで、その3次元応答てた所拘束に対してのべし関係の方で整理しているというふうな
0:39:55	考えてございましたのでこちらのほう装填私どもとしましてはちょっと先行のその取り扱い方っていうところですね、確認させていただきまして、現状の整理

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	の仕方としましては、今ほど申し上げた整理というような形をさせていただいてるところでございます。
0:40:18	貯金ストコンの人たちも先行の整備ちょっと私もすぐにそこら辺も振り分けの考え方が出てこなかったんですが、層厚向こうも整理踏まえた上でですね、続けるということで前に対しまして、それとちょっと
0:40:36	そうですね。ここに書くべきなのか或いは御説明に書くべきなのかちょっと記載の場所をちょっと任せいたしますけれども、計算書のほう系と 347 ページに所スラブに特化した形になってそれ以前の説明ということで連続性がなくなって、
0:40:53	できてしまうところも含めて、それは今後今後店舗の計算書になりうるもの 327 ページに書くのか、或いは補足のほうに過去のかっていうところはちょっと検討が必要かもしれませんが、何らかの形でですねちょっとそういった考え方で記載場所を変えているということがわかるようにですね。
0:41:13	説明の報告を時いただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。
0:41:17	日本にどうしてございます。もし振られまして、適切な場所の方向にそちらのほうの記載分けの方をしている旨のほうは記載させていただきます。
0:41:28	規制庁土野です。よろしくお願いいたします。以上です。
0:41:33	規制庁カミデです。すいません。今のところで添付に書くのか、補足説明で済ますのかっていう考え方について、一応先行炉を参考にという話ではあったんですけど、
0:41:49	なぜ添付でいいか、なぜ添付なのかなぜ補足でいいのかというその考え方まできちんと確認されてたかどうかがよくわからなくてですね、具体的にどちらの来とこまで確認して、今度振り分けを成否と考えているのかももう一度説明いただけますか。
0:42:11	はい。日本ヘトガシでございますちょっとあの確認の中身としましてはやはり核計算と違いといいますの計算書の構成といったところでの確認の程度にちょっととどまっているところがございますのでそちらのほう具体的に
0:42:27	なぜ全部になるのか、所則でいいのかっていったところのその確認といったところに関しましては、すみません、少し確認が不十分なところがございましてその部分に関しましては少し確認した上で、
0:42:42	今ほどの先ほどキシノさんの誤開等も含めたところで各場所といったところはちょっと街道。
0:42:49	検討した上で、図っていきたいというふうに思います。
0:42:56	はい。規制庁カミデです。よろしくお願いいたしますって、これは水平 2 方向に限ったものではなくてですね、いろいろ実用炉を参考に基本方針を含めて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:12	作られてると思うんですけど、そういう書き分けみたいなところを結果だけ見て判断されているようなところがあるんじゃないかと思ってますのでいろんなものを含めて、実用炉
0:43:28	なぜこうしたのかというところまで深掘りしてですね、なぜこれでいいのかっていうのを日本原電なりにちゃんと説明できるように確認いただければと思いますので、この件も、それがも含めた対応いただければと思いますので、よろしくをお願いします。
0:43:49	タイピング連動してございます。今ほどの御趣旨踏まえたところで、
0:43:55	展開したいというふうに思います。
0:44:04	規制庁の武田です。私がもう1点確認なんですけれど、317ページをお願いします。
0:44:17	これは重要区域の壁の断面の評価方法について記載があるんですけど、等もあるし、N規準に基づいた評価されてるということなんですけれど、ここで記載されているのが鉄筋の照査
0:44:32	だけかと思うんですけど、コンクリートの部分についての検討をされてない理由っていうのは説明いただけるでしょうか。
0:44:42	はい、本年度はしてございます。こちらのほう軸力と曲げの評価のほうを実施しておりますのでこちらのほうの設計の思想といたしまして基本的にこちらの調子てるものに関しましてはすべて鉄筋で負担させるといったところを、
0:44:58	原則として設計のほうを実施してございます。ですので発生している軸力と曲げに関しましては、すべて鉄筋で負担できるかどうかというような確認のほうを実施しているというところでございます。
0:45:11	規制庁の武田です。残りました。それでは静的地震力またはSDに対してコンクリートの損傷の程度をまでは特に気にすることは必要ないということによろしいでしょうか。
0:45:26	はい。日本に通してございませますまず鉄筋のほうですべてを応力を負担するといったところの原則論で打ちしてございますので、そちらのほうの軸力と曲げで生じるものに関して応力に関しては、まず鉄筋で負担させるという原則になってございますので、コンクリートには期待しない設計としてるといったところでございます。
0:45:53	規制庁の武田です。わかりました。
0:45:56	本当に重要区域の壁については、期待する性能としては遮へい性能ということによろしいですか。
0:46:23	日本原燃通してございませますこちらのほうの事業区域としまして閉じ込め性能のほうを期待してるといったところでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:38	規制庁岳です。わかりました。私から確認以上になります。
0:46:43	その他規制庁側から本州について確認ございますでしょうか。
0:46:51	規制庁タケダです。よろしければ本署についてと日本原燃のほうから本社についての修正方針等と不開示情報の発言がなかったかの確認をお願いします。
0:47:05	日本原燃のオガセでございますが、こちら取とりちゅうの兆候につきましてまず発言はありませんでした。修正の更新につきましてですけれども、まず大きな評価関係のところではひずみが大いところにつきましては外層になっている実際のひずみの移動のところのデータの体制になっているところの妥当性適用性といったところにつきまして、
0:47:23	逐次的な評価を用いまして2週間後多くのところ目指しまして評価のほうで御提示できるように、準備をいたします。またそのほかですねかかる記載箇所につきましてこう設定の根拠ですとか考え方、方針類のところですねにつきましては文章として記載の追加するようところがございましたので、
0:47:41	こちらについても先ほどの解析的なところとあわせて資料のほうを御提示させていただきまして、同じく2週間後のところで御提示できるように進めて参ります。以上です。
0:47:54	規制庁タケダです。はい、ありがとうございます。では耐震建物 08 の方は以上とさせていただきます。
0:48:02	次の資料ですが、
0:48:06	このままパワーポイント等、
0:48:09	もう形式でいただいている安全冷却水冷却塔の液状化時の波及的影響評価についてということで、この資料については、日本原燃のほうから説明をお願いいたします。
0:48:28	日本原電イナズマです。
0:48:30	要は等今しております安全冷却水B冷却塔のa波及的影響評価の資料に基づきまして説明をいたします。こちらのほうの資料ですけれども、これまで説明資料の耐震建物 23 ですとか、
0:48:48	8月23日の審査会合レポート説明者内容以降にですね、我々が懸念として液状化時の波及的影響評価と同様に考えているのかというところを今回はこの1瓶通しページ目に記載してます通り、
0:49:05	(1)から(4)までの全体フローと解析モデルの海洋までまとめた資料でございます。今後ですね、解析結果については、評価値が出た時点ですね、しっかり補足説明資料ですとか介護補償の形にしてですね。
0:49:21	でも御説明したいというふうに考えてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:25	これまでの説明と若干ちょっと説明が変わったというか、あの表現変えてる部分もございますので、その部分について説明させていただきます。まず 2 ページ目のフローを御確認ください。
0:49:41	2 ページ目のフローの
0:49:44	につきましては、日右上に記載してます通りこの法案の会合で説明した内容に過剰生成したものでございます。修正した部分はオレンジ色で枠として 3 にある矢印で記載しております。
0:50:00	液状化時の検討でございまして、子供のほう審査会合うちにははですね、最初の頂部鉄骨架構の検討のところの矢印というのが、真ん中辺りですね
0:50:16	水色と同じですね、入力地震動出して有効力解析の結果を用いると、それでええと地震応答解析をするというような記載になってございました。ただ、今回ですねえと有効力解析を行うにあたっては、上部架構も含めた形でモデル化を行って、
0:50:33	解析を行いますので、直接的にこの上部架構のせん断力は出てくるということでございますので、この方は表明をですね改めまして、液状化時の検討におきまして上部箱
0:50:49	用いる際には、総せん断力をそのまま上確保の三次元のFEM解析モデルに入れてあげるといことでこちらのほうの記載を修正してございます。
0:51:02	またその他ですね、補足的な説明としまして、
0:51:08	三次元フレームモデルによる検証の話ですとか、材料物性のばらつきの話も記載してございましたことのほうをちょっと今回説明の中号証ですね、フローから見ても、
0:51:21	割愛してしまったんですけども、実際今後補足説明資料ですとか、審査会合資料としてしっかり説明する際にはまだこちらのほうも差異を復活させた形でですね、説明したいというふうに考えてございます。
0:51:38	その他の補足的な追加の説明としては、ちょっと説明が足りなかった部分が 10 ページ以降のモデルのところでございます。
0:51:52	こちらのほうですね今回東西それぞれ 2 番目ですねえとMMRまちょっと真ん中の冷却等を含む部分のモデルと
0:52:04	竜巻基礎だけを含むモデルと 2 断面をそれぞれ計 4 断面で解析をするというような説明をしてございます。
0:52:12	以降ですね、11 ページにも 11 ページ以降にも同じような図面が出てくるんですけども、
0:52:20	方向ですね、東西南北の方向を変えていなかったですねちょっと不親切なところがございますので、こういったところにつきましては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:28	次回以降の説明資料を提出さいにはしっかりその修正させていただきたいと思っております。
0:52:34	またモデル 14 ページ、通しの 14 ページになりますけれども、この現在のモデルとして作成済みでいるのは、NS方向の断面の①番目、冷却と含む断面でございます。
0:52:50	ということの方はモデルを作成しまして解析を進めていると。
0:52:54	途中 5 ページになりますけれども、補助の方まだ記載が不十分というか、記載してございませんが、NS走向の②断面またEW方向ダムにつきましては現在モデル作成中で、こちらモデルができない解析を進めて、
0:53:10	そこにつきましては、
0:53:13	結果はですね、代表的なところができないですね、その結果、またその間が不正の考え方等については改めて説明したいというふうに考えてございます。
0:53:25	どっかちょっと説明としては以上となります。
0:53:30	はい。
0:53:32	規制庁タケダです。ありがとうございます。それではこの資料につきまして、規制庁が行う確認事項がありましたらお願いします。
0:53:44	そういう感じですか。前回会合からの変更点ということで、ネット 2 ページの
0:53:54	オレンジのところですかね。
0:53:57	入力地震動の算定の部分を買う終わったというような話では、
0:54:04	どんどん技術けど。
0:54:07	実態としては、
0:54:10	出典系モデル議に液状化時の入力地震動を入れて
0:54:19	せん断力公差罰するっていう、その考え自体は変わってなくて、ただ一遍に一つのモデルで的のようになりましたっていう話ですか。
0:54:34	日本原燃のイナズマです。はい、そのような認識でございまして実際実施すること自体は変更なんですけども表現として仙台は出てくると遊べ有効応力解析によって上部の支店系における線量ができますので、そちらを用いると。
0:54:53	いう評価にへの修正してございます。
0:54:59	規制庁カミデですか。
0:55:02	確認ですけど、上部鉄骨動向の検討のところの
0:55:07	地震応答解析結果を失点系モデルっていう中から部材の応力相対変位サービスっていう繋がるところは、受渡てる情報というのはそうせん弾力タケダということですか。
0:55:29	日本原燃のイナズマですはい。頂部加工に私の総せん断力によって、ちょっと今この設計を確認を行うということになります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:44	規制庁カミデですちょっとフローをどう関わっているのは、
0:55:52	なお、この
0:55:53	難しいというか、ねえ、何とも言えないところではあるんですけど、水色も入力地震動の算定でオレンジの入力地震動の算定なんだけど、出てくるものが水色は入力地震動で、
0:56:11	オレンジは層せん断力っていうのって、加工言葉の並びがとれていないような形できちんとまだフローとして投資込めてないのかなっていうのは安心なので、その辺は、
0:56:27	ちょっとわかりやすくなるように工夫いただければと思います。
0:56:33	日本原燃の集まりIPあんでもご支援指摘踏まえまして実際やってることと、ここに記載する言葉の項目等については整合させるような形で修正したいと思います。以上です。
0:56:53	規制庁込みです。このオレンジ置くのかというのは、地盤モデルの設定という構造解析地方会ってないですけど、多分失点系モデルの構築もここに入ってきていたりとかするんだと思うので、
0:57:09	あと事情を知って当文系思えるようなフローなんですけど、なかなかですね、実態を表せているようには思えないので、来とか確認いただければと思います。
0:57:27	時間がイナズマですはい今の御指摘踏まえましてみてもといますかわかりやすい事実と異なることがないかのフローという形で時整備ということをしっかり反映されているというような形に修正見直しをかけたと思います。以上です。
0:57:51	規制庁カミデです。
0:57:53	あとですね、今回非液状化という以上角形 2 ケースを合わせているんですけど。
0:58:01	2 ケースなわして、結果どうなるのかっていうのが表現されてないようなんですけど、実態にどういうふうにするのか説明いただけますか。
0:58:18	はい、日本原燃のイナズマです実態としましては、まずは青い来液状化状態における解析としましてはこの検討または杭基礎の検討を行いまして杭の断面ですとか、帳簿加工の
0:58:34	部材の断面算定を行うということを実施いたします。その上で、影響の大きい今回アポイントのほうの
0:58:48	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:50	5 ページ以降に記載している代表地震はあのほうで抽出しました。だめに対して液状化評価を実施すると、その中で、顔でシャッター式液状化時に設定した結果の断面すいません断面算定した部材、
0:59:06	の方が健全性が保たれているというのを確認をしているというのが実態でございます。以上です。
0:59:18	規制庁込みですね、基本は非液状化の設計にどう反映するかっていう意味では非液状化の評価値になったり、基準%値を影響検討で確認用だという話なんで。
0:59:37	その辺もこのフローの中では、
0:59:42	表現できてなくてですね、今のところ、今のフロー普通に流しちゃうと、断面なんかも非液状化用の断面とか、液状化狭めにこう出てくるような感じがあるんで、そのあたり実態に即してな。
0:59:59	何をどうしているのかっていうのがわかるように説明を説明できるようにちょっと記載を考えていただくと。
1:00:10	日本がイナズマです。はい、ただいま御指摘の件、またその先にいただいた指摘の点も踏まえて、実際やっていることをですね、ちょっとフローが整合する形に修正します。以上です。
1:00:44	日本原燃サトウですって今の回答に補足説明させていただきますが、端面自体の設定の考え方ですが、一般的にまず仮定としてこれぐらいの断面でもつだろうってということで、設計を考えて、
1:01:06	実際の応力計算をして、その断面が緑地に対してもつかどうかということを確認するという流れも今回もとってますんで計算方法が二つあるから断面が二つ出てくるというような
1:01:24	そういうことにはなっていないという点をちょっと補足として説明させていただきたいと思います。以上です。
1:01:40	規制庁カミデです私も実態として断面二つ出せるとは全然思っていないくて、このフローは実際やってる作業に対応して書かれていないところを持っているのできちんと書いていたと思います。その上で多分、
1:01:58	断面選定の位置も国庫ちゃおかしいのかもしれないと思っていてですね、その辺は実際に校正系も合わせていることに飲ませることで確認いただければと思いますけど、なんか断面算定でOKで終了っていう
1:02:16	のではなくて、先ほど佐藤さんが言われたようにある程度仮定の断面を
1:02:21	作ってみてそれを評価してOKであれば終わりっていう感じなんだと思ってそのあたり実態に合わせて書いていただければと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:34	日本原燃佐藤です。失礼いたしましたご指摘の点を踏まえましてちょっとフローのほうを見やすく整理したいと思います。ありがとうございました。
1:02:53	規制庁カミデです。フロー関係で規制庁後からありますか。
1:03:05	規制庁の武田です。その1点だけ確認させていただきたいんですが、
1:03:12	オレンジの入力地震動の算定のところで、
1:03:17	杭基礎に作用する地震時荷重の計算のところに伸びている矢印があると思うんですけれど。
1:03:25	ここで注脚せん断力とあるんですけれど。
1:03:30	この終局せん断力って、
1:03:33	この三次元フレームモデルの解析結果から出てくるものではないんでしょうか。
1:03:47	日本原燃イナズマです。今の御指摘の通りだと考えますので、子供と記載のほうは不純物が適切低下の整合してごさいませんので、実際にここで考慮すべき。もう改修等については、
1:04:06	修正してフローのほうを見直したいと思います。以上です。
1:04:11	組合の規制庁の武田です。わかりました。それではこの記載は単なる整合ということで理解しました。
1:04:18	私から確認以上です。
1:04:27	ほかフロー関係がなければ、その他のページから地質確認を進めたいと思いますが、その他、規制庁側から確認ありますようお願いいたします。
1:04:41	規制庁カミデです。それでは4ページ目についてちょっと確認しますけど、
1:04:51	4ページからですね解析形質の抽出ということで
1:04:59	ここで言われたいのは、液状化評価を全廃あるんじゃないかって代表的なものでやるんですってことをター言われたいのだとは思いますが、ちょっとその推進派を絞りたいっていう思いが、
1:05:15	何か強く出過ぎていてですね。そうではなくて、さっきのフローにも通じるんですけど、全体として、非液状化。
1:05:28	のときには、こういう評価をしているんですけど、それに対して有効よ。はい説明もこういう確認をしているんですけど、そのときには影響は絞ってるんだけど、全体の設計としてはすべて地震変わっちゃうと、
1:05:45	包絡して考えてますっていうようなことが見えるようにしなきゃいけないんじゃないかと思っていて、ちょっと具体的にこう書くという話ではないんですけど、あともうそちらの目的に絞り過ぎた記載に、
1:06:03	なっているので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:09	ぜひ、液状化のときはお香だみみたいな話も退避するような形にしたりとかしてですね。あの全般としてどうなってるかっていうことを説明した上でなぜそれでいいのかというのがわかるように記載いただければと思いますけど、いかがでしょうか。
1:06:29	日本がイナズマです。はい、大崎の点が理解いたしました。おっしゃる通り、懸念として何をやりたいのかということをやっとしてその過渡シールするのかというところだけを記載してしまっていますので、今回の施設統合ネット施設におきまして、
1:06:49	全体としてD液状化時にどのような地震動を出せって評価するのか、一方で記録の際には、これでいいんだというところを回避するような形でですね、今いただいたものを踏まえまして、記載について説明。
1:07:06	もう修正させていただきたいと考えてございます。以上です。
1:07:33	規制庁タケダです。その他規制庁側から確認事項ありましたらお願いいたします。
1:07:39	規制庁キシノです。同じく4ページのほうについてちょっと1点確認なんですけれども、
1:07:45	ここはその有効応力解析に関連する盤な流れの説明ということで変更力解析に用いる代表地震動を選定する流れとして、一次元波動論によって入力地震動算定して、
1:08:02	それを用いたときの質点系質点系モデルの応答が大きいものを選びますっていう説明になっているんですか。
1:08:11	えっと一次元波動論で算定した入力地震動というのもフォローするラック、液状化の流況が運ばれていないんです。
1:08:20	入力地震動になるのではないかなと思うんですが、液状化の検討に用いる代表地震動の選定をするにあたって、液状化の影響を考慮できてない入力地震動を用いて、
1:08:35	選定できるっていうふうに考えた理由ってというのは何なんでしょうか、その説明いただけますか。
1:08:45	日本原燃佐藤でございます。
1:08:47	まずうちが波動論によって入力地震動算定するんですが、高尾層のレベルまでは
1:08:56	がんということも液状化しないと、そこから上にも埋戻しについて机上化の影響が出るかと思うんですが、施設への入力自体は鷹架構想レベルから入ってくるというふうな形を今とってますので、
1:09:13	そういう意味では一次元波動論ですか。入力大きさをまずは見ると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:18	いうことはそんなにおかしくないのかなと思うんで、実際能力が大きいことによって、入力可能。
1:09:29	鷹架層上端レベルの入荷大きいことを予定としての時浄化度合いも大分違ってくるといことになりますので、そういう意味では、まずもともとの入力の大きいものです。
1:09:46	かつその時施設への影響があったものといったところに着目して、地震動のほうを抽出できるというふうに考えております。
1:09:57	以上です。
1:10:00	節のキシノです。団体を各部気はしますが、つまりオン
1:10:07	今回の目的っていうのが飛来物防護ネットは物を
1:10:11	ちょうど馬見ることで、当初の摩耗の応答に影響する入力地震動っていったらもう鷹架層直下から入ってくるもの。
1:10:22	が支配的になるであろうということなのかなというふうに理解しました。困難化というそもそもちょっとその注文を受けることが週間ですけれども、そうだとされる今販売。
1:10:39	られんでしょうか。そのあとのステップとしては二次元のFLIPで有効応力解析をやるわけて倉庫の1号炉各2による高高でその有効力解析でも日厳しい地震動は、
1:10:55	選定できるというところまでいえるのかその辺りまでちょっと
1:11:00	御説明いただけますでしょうか。
1:11:14	大成建設の高橋です。
1:11:17	代わりに書いて回答させていただきます。今、有効応力解析を使いまして、上部に質点系モデルを設けた形で解析を実施するよう進めておりまして、そのあと実際に規則を定例実施しました。
1:11:36	既液状化時の支店K解析結果と比較しまして、同等な傾向が出ているか否かというのは考察で考えようと思っています。持ちこの時点で、同様な結果が出ているようであれば、
1:11:52	今、このフローによって最適代表ケースを選択したことの妥当性に繋がると考えております。以上です。
1:12:06	起振です。この選定フローが妥当であることを検証しようとしているということが理解できましたが、ちょっとわからなかったのは、聞いて基準カーもっと規模の結果でもって説明するというふうにすいませんちょっと聞き取れたんですけども、それをもってその液状化の検討に用いる地震動選定の妥当性の説明。
1:12:26	なるんでしょうか。もうちょっと噛み砕いて説明いただけますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:31	大成建設の高橋です。今実際にですね、非液状化の
1:12:39	状態と液状化の状態、我々のほうで考えておりますのは一番上部架構に対しての影響が大きいのは、基礎直下のかたい地盤から直接上がってくる波だと考えておりますので、今、
1:12:58	日液状化の動解析結果と液状化を考慮したときの解析結果を比較することで、
1:13:08	我々の考えが正しいのであれば、直下から上がってきた波の影響のクリティカルになっている影響が大きいというふうなのが確認できれば、液状化速報の部分が液状化した単位の影響は当然
1:13:28	有効応力解析の結果としては反映はされるんですが、実際の
1:13:35	加えに対する影響度合いということであれば、
1:13:41	来液状化状態の結果をもとに、
1:13:45	解析の地震はを選定することは、
1:13:50	妥当なんだろうと、そういうふうに考えております。
1:13:55	以上です。
1:13:57	注腸のキシノです。
1:14:01	ちょっとまだ御説明の中でそれでもってその周辺の非液状化を考慮した場合に比べて検討対象であり、うわものへの影響っていうのが
1:14:13	保守的に見られるんだっていうところまで説明がつくのかどうかっていうのはちょっと現時点ではわからないところがありますけどもその辺りはちょっと一同ちょっとそっちへという資料できちんと説明していただきたいということと、もう一つは今言われたような検証の方法のほかにはですね、
1:14:32	別の検証方法がないかも含めて、ちょっとご検討いただければと思っています。例えば
1:14:39	14 ページですかね、二次元でも、
1:14:44	これは力国基盤表面から上もモデル化してしまっていて直接もう入力できるようなところもあろうかと思えますし、
1:14:53	或いは有効応力解析をもう少し回目一次元のものもあるかもしれないですし、必ずしもそれをつけ足してくださいというわけではないんですが、ちょっと今ご説明のあった手法で、この周辺地盤の影響も含めても、
1:15:09	その方法で選定した地震動が最適であるということの説明がちょっと足りないようであればそういった手法もですね、つぎ込む検討して説明の方をしていただきたいと思えます。前のミヤモトですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:26	決めたのが大変大きなコメントPointしていただいております。2分の1と有効応力解析で例えば自由地盤のフリーフィールドみたいなやつに関して液状交換して13%パニック的にちょっと掲載がこれではできませんで。
1:15:46	こちら辺で波の選定をこうしたっていう形の解析は大末建設さんの方にもちょっとお願いしております、そういった観点からも調べるようにいたしますので、検討させてください。
1:16:01	規制庁キシノです。わかりました。そういった方面での確認も進めつつあるっていうことですので、そういったことも加味して説明のほうをしていただくようお願いいたします。
1:16:22	規制庁の武田です。その他の4ページから確認事項がございますでしょうか。
1:16:32	等よろしいでしょうか。
1:16:35	順番にちょっと進めていきたいと思いますが、5ページから確認事項がございますでしょうか。
1:16:47	規制庁カミデです。
1:16:51	あと9ページからは確認しようと思ってるんですけどそれまでに規制庁高から何かあればお願いします。
1:17:01	規制庁の土野です。
1:17:03	それではちょっと8ページの表について一つお伺いしたいんですけども、
1:17:08	ここで解析ケースとして8係数選定しますとね。
1:17:16	地震動の解析断面をこう変えますよというマトリックス表になっているんですが、地盤物性のばらつきっていうものを、この解析ケースの選定にあたっては出てこないのでしょうか。
1:17:28	例えば先方さん一通テーマ参考にするならば、屋外重要土木構造物なんかで、正のばらつきを考慮した解析ケースですと、液状化を考慮してかつ物性のばらつきを見た場合、
1:17:45	それと他の物性ばらつきとして恣意的状況見た場合として、物性箇所はプラマイ湾支部せっかく今回設計する問題でしているんですが、この8ページの表の中で剛性のばらつきも出てくるんです。
1:18:01	それをこのページと思うんですが別の検討。
1:18:04	もうコーラーについて説明がほとんど出てこないについては、まずこの8ページで解析ケースの設定において浅部ばらつきを考慮し、
1:18:14	ということのように考慮しているのかを説明いただけますでしょうか。
1:18:20	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:22	日本原燃佐藤です。まずここでは、の物性のばらつき初期剛性についてはマイナス $\alpha$ と設定しております。その根拠としましては、6 ページ 7 ページ目でこちらでは標準。
1:18:38	播但とばらつきを
1:18:41	+ のマイナス $\alpha$ を考慮したそれぞれのお等々解析をした際の一番影響の大きいものということで表のほうを整理しております。これを見ますと、6 ページが NS 方向ではくりですとかフレームですとかと。
1:18:59	こそブレスそれぞれ影響の大きい地震かは地盤物性がマイナス $\alpha$ の債務値だったということ。
1:19:07	あと同様に、EW 方向においても、CIGMA の時の応答が一番支配的だったということから、8 ページ目ではちょっとばらつきについてはマイナス深部で
1:19:23	設計するというふうに
1:19:26	名記載しております。ちょっとそこら辺の説明が丁寧になされていないところがありましたので、それについては今後修正のほうはしていきたいと考えております。以上です。
1:19:38	教育長起こりますと、ちょっとそうですね。コイケつないで読めばそういう流れなくなっていくことは理解できましたので保険線形においてですねその物がばらつきがどのように管理してこういう流れになってるのかというところの説明のほうに追加していただければと思います。
1:19:54	8 ページについては確かです。
1:20:00	規制庁のタケダですとその他 8 ページまでで確認事項ございますでしょうか。
1:20:09	よろしければ 9 ページ目、規制庁側から確認事項ありましたらお願いいたします。
1:20:17	規制庁か未定です。9 ページに解析モデルの海洋ワーツで基本的な考え方撤回議案ですけど。
1:20:29	ここに書いてあるの非常に当たり前の判断C側、
1:20:35	低しかなくて、基本方針との対応みたいなものを、本来記載するべきじゃないかと思っているんですけど。
1:20:47	例えば今日更新なんかで言うと、有効よく解析に用いる液状化強度特性は、
1:20:57	その敷地のを見て代表性網羅性保守性を考慮してみたいな話があるんですけどそういったことがこういう、ここに記載されて具体的な内容が後ろに展開されるっていう形かと思っていたんですか。
1:21:15	ちょっとどういう考えでこうまとめているのかみたいな説明いただけますと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:26	日本原燃イナズマですはい今皆さんから御指摘いただいた通り、これにつきましては、サトウに本当に当たり前のことを書いていませんでしたので、我々のほうで説明資料を作る際に、今日も大島共通側で、
1:21:41	どのように書いているのかというところを踏まえて書くべきだったと考えてございます。したがって、今コメントいただきましたように、いうことを解析値にどのような是正を用いるべきなのか、用いるのかという基本方針の
1:21:58	考え方を変えた上で、それ以降のページで具体的な数値等につきまして、しっかり説明できるような資料構成に修正させていただきます。以上です。
1:22:13	規制庁カミデですと基本方針との対応というのは全般的に見てもらいたいですね、今地震 00 という形で確認をしますけど、その有効応力解析に関わるような
1:22:30	もの経常化に関わるようなものっていうのはまだ記載が確定してないものだと思って思っていますので、こういう個別の検討の内容を踏まえて基本方針はこうすべきだっていうこともあるし、
1:22:45	基本方針でこう書くのだから、個別の評価でこういうのを説明をしなきゃいけないっていうこともあると思うので、まず走向でちゃんと確認してですね、基本方針と対応しているのをとるようにしてください。
1:23:03	日本原燃のイナズマに使うか使われました課題も踏まえて、こちらの説明資料、また一つ側の資料双方ですね整合する形で修正を実施したいと考えてございます。以上です。
1:23:21	規制庁カミデです。同じような話で、この 9 ページだけではなくてですね、
1:23:29	今回 2 ページにフローがいきなりフローから始まっているんですけど、この 2 ページより前に、全般的なその基本的な考え方というのがやはり書かれるべきで、それも基本方針の記載を踏まえてですね。
1:23:44	入力地震動っていうのは、こうやって算出するんだとか、あと飛来物防護ネットはこういうふうに例えば来液状化や液状化をやるんだけどみたいな話もありつつ、
1:24:00	じゃあ申請書の計算書にはどうやってクンルンだ何を説明するんだ、申請書のそういう対応だとか、全般的な考え方をまず説明いただいた上でまたフローみたいな、
1:24:15	資料に入っていくっていうことかと思しますので冒頭のところでもそういう整理をしてもらった上で、
1:24:23	9 ページなど、細かい塊の冒頭でもすでにお話先ほど言ったような精神の説明とかですね、きちんとしていただくっていうことかと思しますので、そういった形で見直しをいただければと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:40	はい。
1:24:41	日本原燃のイナズマです。はい。ただいまいただきましたコメントを指摘事項を踏まえまして、まず転籍全体的な考え方を示した上で個別の評価ですとか、考え方について説明するような形で資料のほうは見直し、
1:24:56	訂正したいとコメントございます。以上です。
1:25:04	はい、規制庁カミデです。あとあの9ページの下のほうで評価する事項っていうのはあるんですけども、8月の会合のときの資料だといろいろ整理していて地盤剛性低下とか、
1:25:22	転倒なり滑動なりTierのいろいろなモードを
1:25:27	あるよということを示してもらって、これらについて、こういう確認をしますって言われてた内容を
1:25:36	そうですね。
1:25:37	この資料の記載だけを見ると大分絞られたような感じがして会合で説明した言葉を網羅的に説明されてないような感じがですけどその点いかがですか。
1:25:50	日本原電イナズマです。はい、小関の点でございますけれども、おっしゃる通り、実際は審査、8月の新三郷で御説明した網羅的に
1:26:01	要因等を抽出しましてそれぞれに対してどのような検討するのかということの説明しました。今回ちょっと説明の中でですね。モデル化の考え方ですとか、評価の選定そちらのほうにちょっと注力して資料作ってしまいましたので、
1:26:17	実際は8月の審査会合で説明した事項は実施いたしますので、そこも正確にですね、有効力解析により評価する事項としてはそのようなことがあるのかというところは8月の御説明した内容を踏まえた形で網羅的にですね。
1:26:34	規制するような形で修正したいと考えてございます。以上です。
1:26:41	規制庁カミデです。よろしく申し上げます。
1:26:45	あと10ページに行きますけど。
1:26:51	断面を今回4断面切ってるんですけど、どういう考えでこの4断面を選定していて、なぜこれだけでいいのか。
1:27:01	という話が説明がないので、資料にきちんと反映はしていただきたいんですけど、とりあえず口頭で
1:27:11	この断面の妥当性ですかね。そういったものについて説明いただきますと、
1:27:19	日本原燃佐藤でございます。まずNSEW方向で見た場合、端面地中部の断面の種類としましては、幹部を切ったときには、改良地盤だけを見せてくる。
1:27:36	他行その他の部分については中央MMRがあって両サイドに改良地盤が出てくる。10ページで言いますと、
1:27:46	断面位置等を断面にみたいな、こういう2種類んの断面、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:55	今しかないと
1:27:58	等もにはおんと駄目位置のように中央部にMMRが来る部分が大半を占めるんですが、今回ここではちょっと前広に
1:28:14	端部の場合はちょっと一部にはなりますが、こういう断面もありましたので、N S方向と言うと2断面について評価しておけば、全体的な挙動については、Howできるというふうに判断いたしました。
1:28:32	EW方向についても同様に断面の種類としては、2次に対立できましたのでそういうことで
1:28:41	4段目というような形をとらせていただいております。以上です。
1:28:51	規制庁カミデです。
1:28:54	今、マンメイドロックのある断面内断面てという話は、とりあえず大きなところとしてあると思うんですけど、それ以外の改良地盤より外の部分について何か考えてることってありますか。例えばその、
1:29:12	埋戻どうの。
1:29:15	範囲が大きくなるようにしたほうが保守的だと、だからそういう、A断面にしたとかそういうことなんですけど、何か考えて、断面を選定されてますか。
1:29:30	例えばEW方向の10ページで言いますと断面2を見ていただきますと、
1:29:38	右側に水色のこれは流動化処理、身分戻された地盤がございます。
1:29:50	全体を見れば建家があるんですが、一部こういう流動化処理の部分もあるということで、N層、そういった
1:30:03	どちらかとやばい周辺地盤をちゃんとモデル化する。
1:30:08	そういったところも入るよというように形を考えてます。下はちょっと
1:30:18	保守的というか液状化にとっては、なるべく
1:30:25	厳しくなるような断面
1:30:29	ちょっと考えて設定をして今おります。
1:30:35	以上です。
1:30:39	はい、規制庁込みですわかりましたそういったようなことでいいのできちんと説明今説明された内容ですね、資料は簡潔でいいので反映していただければと思います。
1:30:56	この懸念サトウです承知いたしました。
1:31:04	規制庁、上出です。あと1点、すごい細かい話なんですけど、断面②のPWR
1:31:13	の
1:31:15	断面図ですね、駄目ずれて一番下のところに通風等はてこれが平面的な位置がよくわからないんですけど、これは配付平面図に書き漏れですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:32	日本原燃イナズマ酒井の実際をここにどこの場所を査定のっぽい緑色のかと思うんですけども、こちらの方も相当の平面図のほうで出てきてございませんので、断面図と平面図のほうがちよっと整合するような形で、
1:31:47	記載のほうの図面のほうは、適切に修正したいと思います。
1:31:56	はい、わかりましたと規制庁込みです。とりあえず私のほうからはこの(4)のモデルの概要
1:32:07	については以上です。
1:32:13	規制庁の武田です。それではその他(4)のモデルの概要につきまして規制庁側から確認がありましたらお願いいたします。
1:32:24	規制庁のキシノです。12 ページですね。
1:32:29	国土層の物性なんかについての設定の考え方の説明なんかありますけど。
1:32:37	埋戻等についてその液状化特性の設定の流れですとか根拠データですとか、或いはこの施設へのそのデータの適用性ですとか、設定した結果等についても説明が全然ないんですけども、
1:32:53	ちよっとその辺り説明をしていただけますでしょうか。
1:32:59	はい。
1:33:05	日本原燃の宮本です。しませんの先ほどのちよっとまだ保守性についての資料が出されてないということであってちよっと概要だけちよっと申しますと、AMGのところはボーリングが1点しかなくてですね、敷地全体
1:33:23	から済むと思うの市では15点ぐらいボーリングがあって、その中で、液状化に起因するですね。ええと粒径化石曲線であったり、N値点とあと細部の導入といったところのNPの液状化強度の進行の指標となるのですね。
1:33:41	定員をそれぞれ全体的なばらつきなんかを考慮して液状化強度曲線というのを設定しているんですけども、ほかの平均ページではなくてですね、気相部胸部曲線の下限值を設定して保守性があるにして強度曲線を小さくし、
1:34:01	設定してるということで、こちらの資料もまだちよっと提出しているんですけど、先ほどのカミデさんからのここ技術的論点になるんじゃないかっていう話をされておりましたんで、この地盤もゼロ水路のところでの補足資料として、
1:34:17	通ら新婚ちよっと提出してもらおうのと同時に、こちらのパワーポイントのほうにもですね、先ほど御指摘があったということもあまして、技術的面ところをパワーポイントに落とすようにしたいと思っております。
1:34:37	規制庁の土野です。ある無償わかりました。
1:34:43	今週ですか、地盤00の補足説明資料ということで提出があるということなのでんとそこで説明があると。
1:34:54	ということですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:59	資料が提出させてもらってちょっとヒアリングの時期等については、ちょっとまたご相談させていただきたいと思います。こちらの資料についてはちょっとパワーポイントという形で奇数だけマニュアルのミヤモトですけど、エキスだけでもいいんでちょっと中に入れるようにしたいと思っております。
1:35:18	昨日、すごい前基数はノポイントに入れて、補足説明資料が来週出てくるということですね。
1:35:28	日本原燃の湊です。その通りでございます。
1:35:31	規制庁の土野です。わかりました。ちょっと下限値で設定を起す的に設定というような御説明があったんですけど依存もですねヒアリングの中でちょっと説明を求めていましたし、今し方もちょっと言葉として出ましたけども、
1:35:47	確かこの液状化特性を与えている試験値っていうのは、冷却塔からかなり離れた地点だったかと思しますので、同じような塗装である2層の物性等の観点からも冷却器に適用できる。
1:36:05	といった説明も本当にプロパーベンチ下限値ですね、適用性のないものとなっちゃいますので、そこら辺も踏まえてちゃんと説明できるように準備したいんですが、そこら辺のほうも今検討されているといえますか、クマガイミヤモトリスク冷却塔の基礎ですね。
1:36:22	ずっと一つだけボーリングがちょっとであるんですね。だからそこら辺も全体の代表性の中にどこの辺の位置にあるかっていうのも踏まえて、この資料に落とし込んでいきたいと思ってます。
1:36:35	委員長の金です。わかりました。それでは、また来週の資料提出などをづらいことです。ごめんなさい。以上でございます。
1:36:45	資料1-10をもう1点なんですが、
1:36:51	一番下の形の文章で鷹架層地盤の物性値について保守性のばらつきを考慮するって書いてあるんですか。
1:37:00	物性のばらつきを考慮するところこそだけなんではないでしょうか。埋戻し同層の液状化特性以外の物性値とか地盤改良とか流動化処理の物性値のばらつきを見ないのでしょうか。
1:37:15	その辺りの考え方を説明いただけますか。
1:37:20	そう。
1:37:30	基本的なイナズマでお待ちください。
1:37:52	日本原電の杉田でございます。こちらにつきましては物性のばらつきを考慮するというものを削除し忘れておりました、先ほどの地区、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:05	その結果から抽出したというようなところからマイナス3 $\sigma$ を使用するということになっておりますのでこちらは物性のばらつきを考慮するというわけではなく、マイナスは $\sigma$ の物性をページ。
1:38:20	使用するということでこちら誤植でございます。申しわけございません。以上です。
1:38:29	注腸のキシノです。つまり有効応力解析の中では物性のばらつきを考慮しないという御説明なのかなと思いますが、前段のほうで質問したのが4重複しますけど、前段のほうで有効応力解析に用いる代表地震の選定を
1:38:47	液状化を考慮した一次元波動論で設定している今期の説明を求めたわけですが、そこでも募集のばらつきをも検討はあってもマイナスは $\sigma$ でいきますという結論になっちゃって、それを有効応力解析も防止で、
1:39:03	適用できるのかという質問にも通じることになるかと思っておりますので、そこら辺はちゃんと説明していただきたいんですけど、この辺りの今の時点で考えがあったら説明いただけます。
1:39:27	日本現地のスギタでございます。こちらについては先ほど
1:39:34	もう有効応力解析をシェークの結果を比較するということで、それが妥当かどうかというのを確認して
1:39:47	そういうのRIS示そうと考えております。以上です。
1:39:55	中長期のです。その説明成り立つことで、有効応力解析においても、アイネスはCIGMAという固定条件だけで、最も保守的な結果が得られることを説明するつもりだと、そういう
1:40:10	承知だと理解しました。それでよろしいですか。
1:40:15	日本原燃の杉田です。その認識で
1:40:19	正しいと考えております。以上です。
1:40:22	通帳のキシノです。わかりました。多分物性のばらつきプラス岩種マイナス安心ばってというのが普通見られてちょっと結果。
1:40:34	に与える影響というのがオオオカにくいんじゃないかという案も業務のですけども、ちょっとそれは不安治療ですね、来週、来週後日ですかね。ちょっと説明があるということです。また確認の上で改めて示したいと思えます。
1:40:52	時から上にます。
1:40:57	規制庁カミデです。すいません今の件、もう少し
1:41:02	かみ砕いて説明して欲しいんですけど
1:41:09	議長のモデルの物性値で終わらせて購入してますので、どうかしてますかということについて、もうAマイナス $\sigma$ で決まっていますって話なんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:27	今言っているのは、例えば3ページで言うと、①番の入力地震動算定に使う地盤モデルの
1:41:39	地盤モデルだとマイナス湾σでいいですってということなんですよ。
1:41:54	日本原燃のサトウです。経営すいませんご質問は3ページの
1:42:01	①番の評価でも、
1:42:04	地盤のばらつきは考慮せずマイナス差マイナスσ割り当てているのかという確認でしょうか。
1:42:16	すみません、規制庁カミデです。3ページの①番は、ばらつきを考慮していて、基本ベースとプラスσはマイナスσ
1:42:30	ていうのをその地盤モデルの①番の地盤モデルの物性に対してそれぞれやってるって理解してるんですけどまずそこはいいですよ。
1:42:40	日本原燃佐藤です。その通りでございます。
1:42:47	続けて3ページの②番というのは、ポンチ絵ですけども、これが有効応力解析のモデルだとすると、ここで使っている物性値については+σマイナスσ基本ケースっていうその
1:43:02	①番でやってたような3パターンをやってなくて、マイナスσだけ公表すればいいんだと言っているということですね。
1:43:12	日本原燃佐藤です。そういう設定にしようと考えております。
1:43:19	規制庁カミデです。その時に①番の地盤モデルを使う物性値と②番で使う。
1:43:27	物性値って全く同じですか物性値の種類って意味では同じですか。
1:43:36	多分原燃サトウです。kAと一次元と二次元の違いはあります設置としては一緒でございます。
1:43:48	終わりましたその辺も含めて、今日妥当性をきちんと説明質問させてちょっとなかなか、具体的にはあれなんですけど、②番の有効応力解析
1:44:04	そのときに使う数字使う着目するパラメーター低中①番より多いような気がしたので、それで本当に、①番、マイナスσだけで何もかも物性値を決めてしまっているのかっていうのはちょっとイメージとして思ってしまう。
1:44:23	三つ目ですけど、今のお話だと物性値の書類としては同じものを使っているということで、まあそういったところもわかるようにですね、どういことをまずしているのか、なぜそれが妥当と考えるかというの説明いただければと思いますので、よろしくをお願いします。
1:44:44	はい。人間サトウで承知いたしました。
1:44:52	データとちょっと日本原燃佐藤ですが
1:44:57	私の理解をしてちょっと説明させていただきたいんですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:02	鷹架層自体は既浄化しないということで、ここの層の一番大きな応答が出るのは多分マイナスシフば、
1:45:12	で、その上の液状化するような面をどう指導については多分これ以上動かしてしまうと、初期剛性なんか関係なくて、どんどん下がって行って、どちらかというとその鷹架層での入力大きさが
1:45:29	液状化層の剛性の低下に大きく寄与するというふうに考えておりますのでそういう意味で鷹架層での応答が大きくなる、新しい施設への影響が大きかったという、そういったことで、
1:45:46	地盤の物性については設定させていただいておりましたのでそういった点も踏まえてちょっと資料のほうは整理させていただきたいというふうに考えております。以上です。
1:46:01	はい、規制庁込みですわかりましたやっぱりどの物性方向のモデル中のどの部制に灯油ばらつきを考えるか考えないのかということを下寧に説明いただくと、多分イメージが掴みやすいと思いますのでよろしくお願いします。
1:46:20	承知いたしました。
1:46:27	。
1:46:29	規制庁の武田です。
1:46:31	ばらつきに関するところでもう一度ここをもう1個確認なんですけれど、液状化強度曲線についても先行炉とかではばらつきを考慮してCIGMA低下させた曲線使ったりとかされてると思うんですけれど、今回の評価に関しては、
1:46:49	下限値を用いているからそれは考慮しないと。
1:46:53	いう理解かと思ってるんですがそれで正しいですか。アップ日本円のみおつ下限中型包絡値を使っております。協力点については、
1:47:03	規制庁タケダですね、方向にも下の行現地もしくは今日はい包絡値ということで、だからカ年ミナムだからマイナスはより保守的という。
1:47:15	ことを
1:47:17	という理解で正しいですか。
1:47:19	日本原燃見落とすタケダさんのおっしゃる通り正しい理解だと思います。
1:47:23	規制庁タケダですね、液状化に関しては理解しました。
1:47:27	ちょっとほかのことなんですけれど、9ページでちょっと1点確認させてください。
1:47:37	この二つ目のですね有効応力解析により評価する事項のところ、ここはこれまで審査会合の内容とか、改めて追記していただくということなんですけど、念のための確認なんですけど、
1:47:54	ここを書く方(1)から(2)で起訴状部。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:58	結構通過口頭記載はあるんですけど。
1:48:01	基礎スラブについて触れられていないんですけど。
1:48:07	これに基礎スラブについては有効応力解析の結果を二次元FEMのモデルに
1:48:14	反映する反映するというか、フィードバックするような作業は行わないのでしょうか。
1:48:24	日本エヌイナズマです。はい、ご指摘の点を踏まえ、おっしゃる通りかと思えますので、時外改定とここでは杭基礎の今年か書いておりませんが、気相部ばりの部分ですね、こちらについてもしっかりと評価を行った結果についてはお示ししたいと考えてございます。以上です。
1:48:43	規制庁タケダですわかりましたじゃそこも追記されるということで理解しました。
1:48:48	私からは確認は以上になります。
1:48:51	その他、規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:48:59	等よろしいでしょうか投与し規制庁の古作です。
1:49:03	と土層相当、
1:49:06	基本的な質問で申し訳ないんですけど。
1:49:10	今言った辺りの消化っていうのはあった耐震の評価なのか地盤の評価の無かったっていうのはどう頭の整理をすればいいのでしょうか。
1:49:29	日本原燃の宮尾です。今コサクさんがおっしゃる通りで今地盤もstage地盤のCCFLの方針と耐震設計の方針がごちゃ混ぜになってというような感じなので、今に社内です、この辺の東部にシリーズの関係の、今からゴム、
1:49:49	6日の6日ですね、一緒にまとめちよるかっていうようなところでちょっと社内で検討し始めてるところでございます。
1:50:02	規制庁コサクです。まとめたの関連するものでまとめるっていうこと自体は
1:50:09	問。
1:50:10	あっていいと思うんですけど、一方で基準適合それぞれ説明しなきゃいけないっていう観点もあるので、まとめた際には視点を忘れずに、どこまでが、もうそれぞれに関連するのかと。
1:50:26	ということがわかるように整理いただければと思います。よろしく申し上げます。金曜日現在承知いたしました。
1:50:38	規制庁タケダですね等その他ごめん液状化の資料につきまして確認事項ございますでしょうか。
1:50:48	よろしいでしょうか。ちょうカミデです。最後の16ページのところで確認なんですけど、
1:50:56	断面①、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:01	左側右側、それぞれ応答にどれぐらい差を許容しているのか、幾つもあったりとかオガセサトウありますか。
1:51:16	日本原燃、佐藤です。
1:51:20	許容というか、これは解析モデルをといったなりに出てくる両サイドのせん断力です。
1:51:30	ので。今日今日というか下がっちゃいけないというような
1:51:35	ニュー縛りはないんですが、ただ系と、
1:51:42	バランスよく両サイドに
1:51:44	剛性が入ってますんで、そういう意味では変な応答にはなつたらないだろうというふうには今のところ想定しております。
1:51:54	以上です。
1:51:56	はい、規制庁カミデです私も、
1:51:59	そんなに大きな応答のサーバーてないだろうとは思っているんですけど、
1:52:07	局所的にっていうか、片一方が大きくて、片一方が小さいっていうとこ平均化して与えてしまうんですね。一方が保守的一方が非保守的っていうことになるので、多少の差は許容しつつも、
1:52:24	余りにもひどい場合はっていうところがあると思うんでやってる内容としてはまずこの応答の結果を持つ。
1:52:32	今みみるということをやっているんだと思いますので、その辺り設計行為としてそういう確認をしているという言葉のあるつってもらえればいいかなと思ってるんですけどいかがですか。
1:52:46	日本原燃佐藤です。
1:52:49	そういう意味では2断面使ってますし、片側もまた担っているということでそれぞれの
1:52:57	応答の状況については、把握というか、整理したところがないのかを確認した上で、そのあとに続く三次元フレームのちゃんとせん断力は引き渡すようなそういうことがわかるようなちょっと資料、
1:53:18	設計図書の方には整理したいと思います。
1:53:25	規制庁カミデさん。今お答えいただいたのは、断面①と②の結果ということで、
1:53:32	お答えいただいたんだと思いますが、断面①でも2種類失点系があつて、上も繋がつ停止したも
1:53:42	真上から繋がつてんでそんなに大きな差はないと思いますので、一応見ていただくっていうことは必要だと思うので、そういった観点で整理整備に記載の拡充をいただければと思いますので、お願いします。
1:53:59	承知いたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:08	規制庁タケダです。その他、ほぼこの週につきまして確認事項ございますでしょうか。
1:54:17	よろしければ、日本原燃の方からこの資料についての修正方針等不開示情報の発言の確認をお願いいたします。
1:54:30	日本原燃イナズマです。はい、今回の資料につきましても各項目ごとコメントいただきましたので、大きなところだと、前半に冒頭全体的な考え方を記載するところまた基本方針側との
1:54:46	生後をこちらのその他情報士がおり関するのかというところを含めまして、修正を行いたいと考えてございます。また本日の説明におきまして不開示情報の発言をそうでなかったと認識してございます。
1:55:00	資料につきましては、今回の修正点含めてこれまでのスケジュールの中で来週 28 日にですね、御説明するというスケジュールを示してございましたが、ちょっと今解析の当実施中というところとは今回いただいたものの修正等を
1:55:20	出ますので、18 にちょっと目標ということで、準備いたしますがまたその種のスケジュールの変更になる場合にはまたすでにですね、時提出時期につきましては、また報告修正アワーのバスなどのバスというところのほうからさせていただきたいと考えてございます。以上です。
1:55:48	はい、規制庁の武田です。ありがとうございます。
1:55:52	本日
1:55:55	予定していた確認資料については以上となります。
1:55:59	規制庁側から全体を通して何かございますでしょうか。
1:56:06	規制庁の檀です。先ほどの、これがスケジュールなんですけれども、解析が間に合っていないのでっていうお話があって、28 日は、
1:56:15	評価と、本日の指摘もありということだったんですけども、
1:56:19	前々から申し上げてる通り、
1:56:22	基本、こちらの指摘もそうなんですけど、補足説明資料の形できちっと審議まずは出してもらって、次がある場合は通じでも結構と、これは申し上げております。それでも出せないということであればやはり当初からの見通しがかなり甘かったと言わざるを得ないですし、
1:56:38	本日のヒアリングについてももう二つぐらい項目があったんですが、資料が既知地勢されてないっていう状況で今回ヒアリングできなかったという事実はあって、排出 28 日本当にいい資料出せるのかと。
1:56:52	無作為もうすでに目標だということと言って遅れる場合はと言ってるんですけども出せないということであれば 10 月以降ですということできちっとスケジュールを立てて欲しいんですけども、その点いかがでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:07	分限サトウでございます。ちょっと協力していただいている会社の方々とも今一度ちょっと相談して時期については、改めて
1:57:20	報告させていただきたいと思います。申し訳ございませんでした。
1:57:25	はい。
1:57:28	規制庁津金です。もう繰り返しになりますけれども前々からきちっとスケジュールを立てて冷静進めていきたいと、こちら申し上げているところなんで、毎回毎回
1:57:40	改めて永代再生対応考えますということをし繰り返されても審査は進まないの、きちっとしたスケジュールを立てて整理審査ヒアリングに臨んでいただきたいと思います以上です。
1:57:55	その原燃さと初期化しました。
1:58:12	規制庁タケダですねとそのものは規制庁側から何かございますでしょうか。
1:58:24	1回の審査会合なんですけれども10月12日に開催予定であるということは、日本原燃の方も認識がされていると思うんですけど、それはよろしいですよ
1:58:40	日本原燃の藤吉東京支社の方からもとして聞いております。
1:58:46	わかりました。もう次の審査、12日の審査会合の論点になってるところは、防護ネットの液状化に関するところだと思いますので、これが遅れてしまうということは議論ができないということになってしまうと思いますので、
1:59:02	方針の更新に関する部分だけでも早めに仕様を提示いただいて、対応いただくようお願いしたいと思います。
1:59:15	日本原燃佐藤で承知いたしました。
1:59:18	規制庁コサクです。今の点ですけど、ちゃんと議論ができるように、先ほどのツガネが言ったように、補足説明資料のデータも含めたものっていうのを提示してくださいということはあるつつ、会合12日に向けてということだと。
1:59:38	そうすると、28日あたりには会合用資料っていうのも、
1:59:44	提示されるおつもりと思ってよろしいんでしょうか。
1:59:50	日本原燃佐藤でございます。
1:59:56	会合の資料についても、あわせてですねちょっと作成今進めております。本日いただいたコメントですとか追加の評価の内容についても、そこに盛り込めるようにちょっと準備して
2:00:16	御相談というか
2:00:18	御確認いただく日たいと思いますので、
2:00:23	なるべくにはなるべくとか28日に資料を出してできるよう、下げのほうを進めて参りたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:32	以上です。
2:00:34	規制庁コサクです。その意味では、パワーポイント
2:00:40	経営の資料にNOとなると思うんですけど、それが補足説明資料と繋がって いて何を意味するのかっていうことの理解が深まってないと審査会合としてう まく議論できないってことがあるかと思しますので、
2:00:56	先ほど津金が言った通り対応いただければと思いますので、耐専については もうそれで進めていただくんですけど、フジノさんに確認かとは思いますがそ れ以外の全般の対応についてはどうお考えになってますか。
2:01:16	日本原燃のフジノです。
2:01:19	先日の規制委員会なんかを確認させていただいたんですが選定の話の部分 で少し説明不足しているのがあると認識してますのでその説明の内容であ ったり、状況、あとちょっと別紙のそれぞれの進捗についてはどう示すかとい うのはあるんですが、
2:01:37	少し共通に関する部分も何かを昇温して
2:01:43	補足情報として付加するのかなというような認識は少し持っています。
2:01:50	はい。規制庁コサクです
2:01:52	全体共通については4月からずっと同じような状況でありつつ毎回議題になっ てて、毎回何をやればいいのかねっていう疑問はありつつですね、
2:02:04	先ほどの耐震の話にもなるんですけど、ここまでにやるといった、
2:02:09	建前どうなってるんだっていうのは言わなきゃいけないというニュースも足かせ を原燃側がみずからはめているようなところもあるので、その点での説明とい うことだけはやっていただきつつですね。
2:02:26	内容は
2:02:29	イトウ
2:02:31	結局のところは、各条文で-00シリーズで市それぞれどう困っどういう考えで どうまとめていけばいいのかっていうのが、やはり認識共有できずに、
2:02:46	日程調整が残っていたという。
2:02:50	実態だとは思いますが、
2:02:53	その辺りでどうすん結果っていうのが話ができればいいんじゃないかなと思っ て。
2:03:01	テーマ数。
2:03:02	ちょっとスケジュール表ちゃんと見てないんですけど。
2:03:07	その辺り整理してのをまた別室各条文別紙を見ていくっていうのはいつぐら いになるんです。
2:03:17	その下のフジノです。ちょっと外傷の部分が

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:23	先週のヒアリングでまだ問題部分があるんですが、提出して説明できる共通00シリーズは少しずつでもちょっと進めておきたいなというふうな曖昧遮断とも話をしています、
2:03:38	例えば住むヒアリングで図で共通の00関係の間、安全機能を有する施設とあと重大事故なんかを少し説明させていただけないかなとかっていうところも、今事務局さん通して調整なんか始めさせていただいております。
2:03:53	露頭どういう作戦でいくかということはあると思うんですが、ちょっと共通部分のメンバー少ないので、もう少し戻ってですね、支払いなんかと対応の方向性、それから説明できる資料を提出しているものもございますので、ちょっと組み込ませていただきたいなというふうに今考えております。
2:04:12	はい。
2:04:14	垂直補足です。明日はちょっと、もともとメニューにないので、どこまで話せるのかわかりませんが。
2:04:22	いずれにしても、来週ですね会合に向けた資料を出されるというときには会合までにどう進めたらいいか会合後どういうふうに冷たいのかと。
2:04:36	いうことの内容を示していただかないと会合でどう対応しているかというのは、こちらわかりませんので、その時には
2:04:46	状況がわかるようにしていただければと思いますので検討よろしくお願ひします。
2:04:51	日本原燃のフジノですはい関係者ともちょっと協力してどう進めるかというの資料にまず盛り込む形で対応したいと思います。
2:05:06	規制庁タケダです。その他規制庁側から何かございますでしょうか。
2:05:14	日本原燃の方から何かございますでしょうか。
2:05:21	人間の補助です。日本原燃側特にございません。
2:05:25	規制庁タケダです。わかりました。
2:05:28	それでは本日のヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
2:05:35	でした。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。